国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 25 年 5 月 28 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高　公久
電話番号　　03-5572-0233

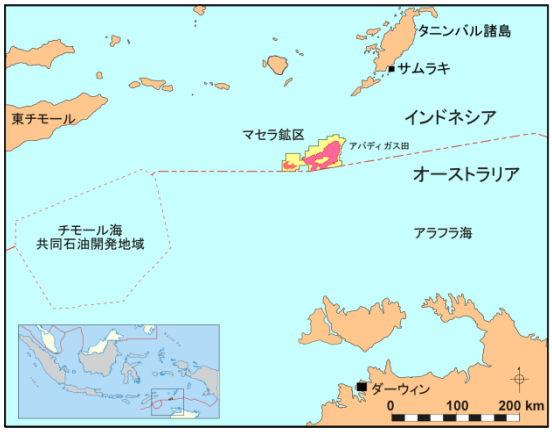
インドネシア共和国　アバディ LNG プロジェクト（マセラ鉱区）参加権益比率の変更について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のインペックスマセラアラフラ海石油株式会社を通じて、オペレーターとして60%の参加権益を有するインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区におけるアバディLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発準備作業を、パートナーのShell Upstream Overseas Services (I) Limited社（参加権益30%、以下シェル社）およびPT EMP Energi Indonesia社（参加権益10%、以下EMPI社）とともに推進中です。

このたび、EMPI 社が保有する本プロジェクト参加権益全ての譲渡を決定したことに伴い、当社およびシェル社が EMPI 社保有参加権益の一部（5%）をそれぞれ取得することに合意し、本プロジェクトの参加権益比率が当社 65%およびシェル社 35%に変更することとなりましたので、お知らせします。

なお、本権益取得は、インドネシア政府の承認および当事者間の譲渡契約上の先行条件の充足が契約発効のための条件となります。





当社は、インドネシア政府関係者をはじめとする同国関係者およびその他のプロジェクト関係

者のみなさまのご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトを早期に立ち上げるために引き続き努力してまいります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微であります。

以上

「補足・関連情報」

アバディLNGプロジェクトについて

当社は、1998 年のインドネシア政府による公開入札により本プロジェクトが位置するマセラ鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業により LNG 開発に十分な天然ガス埋蔵量があることを確認。2010 年には、マセラ鉱区内で発見したアバディガス田を段階的に開発することとし、その第一次開発として、LNG 年産 250 万トンサイズの浮体構造に天然ガス液化設備を搭載したフローティング LNG1 基による開発計画についてインドネシア政府から承認を受けた。現在、開発準備作業として基本設計作業を実施中であり、これとは別にアバディガス田の天然ガス埋蔵量に応じた追加開発の検討も実施している。